

上場会社名 D I C株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4631 URL http://www.dic-global.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 義之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 二宮 啓之 TEL 03-3272-4511
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	176,119	△8.0	9,672	△6.5	8,421	△5.6	6,176	△27.3
24年3月期第1四半期	191,504	△2.7	10,344	1.3	8,922	△3.7	8,497	41.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 20,277百万円 (31.5%) 24年3月期第1四半期 15,418百万円 (113.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.73	—
24年3月期第1四半期	9.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	718,002	142,440	16.6
24年3月期	675,067	124,496	15.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 119,520百万円 24年3月期 101,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	370,000	△2.3	18,000	0.4	15,000	△3.5	9,000	△28.2	9.81
通期	760,000	3.5	42,000	20.1	37,000	20.1	20,000	10.1	21.80

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は、4 ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

当第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、4 ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	919,372,048株	24年3月期	919,372,048株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,886,714株	24年3月期	1,884,166株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	917,486,512株	24年3月期1Q	917,507,973株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3 ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	1
(1) 当第1四半期の業績全般の概況	1
(2) 当第1四半期のセグメント別業績	1
(3) 当第2四半期連結累計期間及び通期の業績全般の見通し	3
2. 財政状態	3
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 経営成績

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内会社は3月であるため、当第1四半期の状況に関しては、海外子会社は平成24年1～3月、国内会社は平成24年4月～6月について各々記載しています。

(1) 当第1四半期の業績全般の概況

当第1四半期の当社グループを取り巻く事業環境については、欧州の債務危機を契機とした世界的な景気減速や、アジアの成長鈍化などが国内外の需要環境に影響を及ぼしたものの、自動車や電気・電子産業などを中心に緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、東日本大震災による関連特需が発生した前年同期との対比においては、一般的に需要は減少しました。

このような事業環境の中、当第1四半期の売上高は、国内や米州・欧州を中心に出荷が減少した結果、1,761億円と前年同期比8.0%の減収となりました。

営業利益は、減収の影響などにより、97億円と前年同期比6.5%の減益となりました。

経常利益は、84億円と前年同期比5.6%の減益となりました。

四半期純利益は、特別利益が減少したことなどにより、62億円と前年同期比27.3%の減益となりました。

	前第1四半期 実績	当第1四半期 実績	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	1,915億円	1,761億円	△8.0%	△5.5%
営業利益	103	97	△6.5%	△2.2%
経常利益	89	84	△5.6%	--
四半期純利益	85	62	△27.3%	--

(注) 当第1四半期の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均：平成24年1月～3月)は、79.25円/米ドル(前年同期：82.12円/米ドル)を適用しています。

(2) 当第1四半期のセグメント別業績

(単位：億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第1 四半期 実績	当第1 四半期 実績	前年同期比		前第1 四半期 実績	当第1 四半期 実績	前年同期比	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
印刷インキ	928	883	△4.9%	△0.6%	28	31	+11.4%	+28.1%
ニューグラフィック アーツ	336	319	△5.0%	△2.8%	37	32	△12.7%	△11.1%
合成樹脂	438	392	△10.6%	△10.0%	36	34	△7.4%	△7.2%
ケミカル ソリューション	316	278	△12.0%	△11.6%	11	10	△8.7%	△8.3%
その他	7	5	△24.8%	△17.2%	1	2	+65.1%	+75.2%
消去又は全社	△110	△116	----	----	△10	△12	----	----
計	1,915	1,761	△8.0%	△5.5%	103	97	△6.5%	△2.2%

(注) 当第1四半期より組織改編を行ったことに伴い、一部の製品についてセグメント区分を変更しております。なお、前第1四半期実績については、変更後のセグメントに組み替えて記載しております。

各セグメントの業績は次のとおりです。前年同期比の()内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、印刷インキセグメントの業績にはセグメント内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[印刷インキ]

・日本 売上高：222億円 前年同期比 △3.3%
営業利益：16億円 前年同期比 +84.7%

グラビアインキは、主として前年同期に震災による特需が発生した影響から減収となりました。オフセットインキは、従前からの需要減少傾向に加えて、前期後半からの販売価格是正の過程において一部の商権を失ったことなどにより減収となりましたが、新聞インキは、カラーインキの新製品販売などにより増収となりました。以上の結果、全体としては減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況にもかかわらず、販売価格の是正に一定の効果が見られたことなどにより、増益となりました。

・米州・欧州 売上高：534億円 前年同期比 △7.8% (△1.9%)
営業利益：4億円 前年同期比 △55.8% (△33.5%)

北米においては、雑誌や新聞の発行部数減少などにより、出版インキと新聞インキが落ち込みましたが、パッケージ用インキが好調に推移し、前年同期並となりました。一方、欧州においては、パッケージ用インキが微増となったものの、出版インキと新聞インキが北米同様に減少したことが響き、減収となりました。中南米においては、オフセットインキが苦戦しましたが、主力のパッケージ用インキが増加し、前年同期並となりました。以上の結果、全体としては減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、減益となりました。

・アジア・オセアニア 売上高：149億円 前年同期比 +4.5% (+8.8%)
営業利益：12億円 前年同期比 +7.3% (+13.0%)

中国では、新聞インキがシェア拡大により増加しましたが、オフセットインキが景気減速の影響により減少したことから、前年同期並に留まりました。東南アジアでは、オフセットインキの需要が減少しましたが、グラビアインキと新聞インキが好調に推移したことから、増収となりました。オセアニアではグラビアインキがパシフィック・インクス社からの事業譲受などにより伸長したことで、増収となりました。インドではグラビアインキを中心に堅調に推移したことで、増収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、増益となりました。

[ニューグラフィックアーツ]

売上高：319億円 前年同期比 △5.0% (△2.8%)
営業利益：32億円 前年同期比 △12.7% (△11.1%)

有機顔料は、カラーフィルター用や塗料・プラスチック用が各々伸長しましたが、海外におけるインキ用の減少が大きく、減収となりました。インクジェットインキはシェア拡大などにより、国内外で増収となりましたが、TF T液晶が、液晶テレビ向け出荷の減少により減収となりました。以上の結果、国内では減収、海外では現地通貨ベースでは前年同期並となったものの円高の影響により減収となったことから、全体としても減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、減益となりました。

[合成樹脂]

売上高： 392億円 前年同期比 △10.6% (△10.0%)
 営業利益： 34億円 前年同期比 △ 7.4% (△ 7.2%)

国内では、前年同期に電力不足への懸念などから特需が発生した影響から、電気・電子向けを中心に出荷が減少し、塗料用樹脂やエポキシ樹脂が減収となりました。ポリスチレンも、前年同期に震災に伴う軽量容器向けの特需が発生した影響から、減収となりました。海外では、中国においても景気減速の影響により苦戦を強いられたことなどから、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、減益となりました。

[ケミカルソリューション]

売上高： 278億円 前年同期比 △12.0% (△11.6%)
 営業利益： 10億円 前年同期比 △ 8.7% (△ 8.3%)

PPSコンパウンドは自動車関連需要が好調に推移したことから、また、工業用粘着テープはスマートフォン向けに出荷が拡大したことから、各々好調に推移しましたが、前年同期に震災に伴う特需が発生した多層フィルムや、一部の商権を譲渡したパレットが減少したことなどから、全体としては減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、減益となりました。

(3) 当第2四半期連結累計期間及び通期の業績全般の見通し

(単位：億円)

	前第2四半期 連結累計期間 実績	当第2四半期 連結累計期間 見通し	前年同期比	前期 実績	通期 見通し	前期比
売上高	3,789	3,700	△2.3%	7,343	7,600	+3.5%
営業利益	179	180	+0.4%	350	420	+20.1%
経常利益	155	150	△3.5%	308	370	+20.1%
当期純利益	125	90	△28.2%	182	200	+10.1%

※前回予想(平成24年5月10日開示)と変更ありません。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれていません。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第1四半期末の資産の部は前期末と比べて429億円増加し、7,180億円となりました。債権流動化の減少に伴い売上債権が増加したほか、為替レート変動の影響でも資産が増加したためです。負債の部は、有利子負債の増加及び為替レート変動の影響などにより、前期末比250億円増の5,756億円となりました。また、純資産の部は、為替レート変動の影響等により前期末比179億円増の1,424億円となりました。

3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,695	22,147
受取手形及び売掛金	173,599	209,802
商品及び製品	71,295	76,073
仕掛品	8,694	8,650
原材料及び貯蔵品	44,196	45,367
その他	28,692	28,876
貸倒引当金	△7,492	△7,930
流動資産合計	348,679	382,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	80,971	82,562
機械装置及び運搬具（純額）	57,921	59,597
工具、器具及び備品（純額）	7,024	7,096
土地	51,734	52,633
建設仮勘定	5,175	5,051
有形固定資産合計	202,825	206,939
無形固定資産		
のれん	611	603
その他	11,192	12,092
無形固定資産合計	11,803	12,695
投資その他の資産		
投資有価証券	31,532	32,131
その他	81,604	84,675
貸倒引当金	△1,376	△1,423
投資その他の資産合計	111,760	115,383
固定資産合計	326,388	335,017
資産合計	675,067	718,002

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,754	106,600
短期借入金	68,767	85,354
コマーシャル・ペーパー	11,000	24,000
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	5,746	5,077
賞与引当金	2,797	3,410
災害損失引当金	2,250	2,250
その他	59,981	54,961
流動負債合計	265,295	281,652
固定負債		
社債	36,000	36,000
長期借入金	201,001	208,115
退職給付引当金	29,948	31,484
資産除去債務	933	952
その他	17,394	17,359
固定負債合計	285,276	293,910
負債合計	550,571	575,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,154	91,154
資本剰余金	88,758	88,758
利益剰余金	53,963	58,304
自己株式	△660	△661
株主資本合計	233,215	237,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△422	△871
繰延ヘッジ損益	△568	△595
年金負債調整額	△24,373	△26,155
為替換算調整勘定	△105,941	△90,414
その他の包括利益累計額合計	△131,304	△118,035
少数株主持分	22,585	22,920
純資産合計	124,496	142,440
負債純資産合計	675,067	718,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	191,504	176,119
売上原価	152,553	139,915
売上総利益	38,951	36,204
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	9,473	8,526
貸倒引当金繰入額	150	124
賞与引当金繰入額	1,191	1,239
退職給付費用	920	971
その他	16,873	15,672
販売費及び一般管理費合計	28,607	26,532
営業利益	10,344	9,672
営業外収益		
受取利息	566	382
受取配当金	37	44
持分法による投資利益	635	517
その他	778	624
営業外収益合計	2,016	1,567
営業外費用		
支払利息	1,823	1,798
為替差損	897	482
その他	718	538
営業外費用合計	3,438	2,818
経常利益	8,922	8,421
特別利益		
固定資産売却益	237	1,599
関係会社株式売却益	2,984	—
特別利益合計	3,221	1,599
特別損失		
固定資産処分損	155	375
リストラ関連退職損失	221	59
特別損失合計	376	434
税金等調整前四半期純利益	11,767	9,586
法人税等	2,832	2,896
少数株主損益調整前四半期純利益	8,935	6,690
少数株主利益	438	514
四半期純利益	8,497	6,176

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,935	6,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	△498
繰延ヘッジ損益	82	△27
年金負債調整額	△767	△1,782
為替換算調整勘定	6,824	15,247
持分法適用会社に対する持分相当額	389	647
その他の包括利益合計	6,483	13,587
四半期包括利益	15,418	20,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,805	19,445
少数株主に係る四半期包括利益	613	832

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	92,841	25,033	41,400	31,564	190,838	666	191,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,557	2,390	1	10,948	—	10,948
計	92,841	33,590	43,790	31,565	201,786	666	202,452
セグメント利益	2,757	3,695	3,631	1,107	11,190	126	11,316

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,190
「その他」の区分の利益	126
全社費用(注)	△972
四半期連結損益計算書の営業利益	10,344

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	88,288	22,456	37,089	27,785	175,618	501	176,119
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,444	2,066	1	11,511	—	11,511
計	88,288	31,900	39,155	27,786	187,129	501	187,630
セグメント利益	3,070	3,226	3,361	1,011	10,668	208	10,876

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,668
「その他」の区分の利益	208
全社費用(注)	△1,204
四半期連結損益計算書の営業利益	9,672

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、機動力の強化、社内における情報共有、トータル・ソリューション・ビジネスの展開を図ることで、「点から面へ」の展開を推進することを目的に、製品本部と営業・技術・生産の各統括本部で構成されたマトリックス型組織による運営を開始しました。これに伴い、一部の製品についてセグメント区分を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。